



住み慣れた地域や自宅で豊かに暮らし続けるための  
交流・支え合いの居場所づくり

発行：向こう三軒両隣@くにたち  
発行人代表：新井和雄  
〒186-0002 国立市東 2-27-11  
電話 042-572-9786  
FAX 042-576-4641



## 話し合いましょう！ 7/12(土)懇談会@東2丁目

東2丁目の寄贈地に小規模多機能型居宅介護事業所が設置され、地域交流スペースが併設される  
ことが、昨年の8月と今年の3月の市の近隣住民説明会で伝えられました。向こう三軒両隣@くにたち  
では、地域みなさんに「活用」されるスペースにするために、話し合いましょうと呼びかけ、4月12日  
(土)に第1回の懇談会を東福祉館にて開きました。そして、「よりよい形でできるように皆さんの知恵を  
出し合っていきたいですね。」という声に励まされ、その後も事例見学なども行ってきました。

今回、より多くみなさんにご参加いただけるよう呼びかけています。是非ご参加ください！

「懇談会@東2丁目～住み慣れた地域や自宅で豊かに暮らし続けるための  
交流・支え合いの居場所づくり～」

小・中・高校生の参加歓迎！

日 時： 7月12日(土) 午後2時～4時頃

場 所： 東福祉館 集会室 (国立市東3-18-32)

## レストラン サラ&ひろばサラを訪問しました。



紀平さん

出汁を取って作る日替わり定食。  
メインは肉か魚を選べます。



サラばあさん

6月21日(土)にけやき台団地のレストランサラを12名で訪問しました。レストランの隣のひろばサラ  
を会場に、「歳をとっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」という願いをかなえるために取り  
組みを始めたNPO法人高齢社会の食と職を考える チャンプルーの会 元代表の紀平(きひら)さんに、  
地域の中でつながりを広げ、活動を継続し発展させるためについてのお話を伺いました。次頁につづく



## 思いがけない「つながり」がありました！

ここで、参加加して下さった地域のみなさんの感想をご紹介します。

●紀平さんのわかりやすい話しを伺い継続の大切さを感じました。それを可能にしているのは、紀平さんの物事のとらえ方、人への対応が水平思考なことと行動力があり、ぶれない志、その人徳ゆえに協力を惜しまない人が集まるのではと思いました。紀平さんが国立公民館関係の本を読んでいらしたことと、参加者の中で女性問題講座の第38期の人と出会ったこと(私は16期)に、つながりを感じました。

ランチは本当に美味しい!! 中1丁目 吉澤節子

●国立市の「道路とビル」のまちづくりはやめて「市民のためのまちづくり」をすすめることを求めて、他市の体験を学ぶために参加しました。NPO 法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会では、素材の美味しさを活かし、糖尿病などの方にも安心できる「食事」と居場所を提供し、働く人の「職」の労働条件も保障する理念と活動は素晴らしいと思いました。ここには、介護保険を活用しつつ一人ひとりに合ったケアを目指す挑戦がありました。他のNPOとの協働も始まっているようですが、市民の力で国の社会保障削減に物申す力にもなってほしいと思いました。東4丁目 小沢 靖子

●福祉は人なり、という言葉が久しぶりに思い出しました。紀平さんたち立ち上げメンバーの心(意思)・仲間(研究を重ねる)・ビジョン、そして何より人を大切にする(利用者の個々への対応や働き甲斐等)姿勢がこの会を発展させてきた要因だと思いました。身近にほしい施設です。 C. Z.



ご近所の高齢者の方が気軽に集い、丁寧に汁を取って作られた体に優しくて美味しいご飯を食べることが出来るレストランサラ。

商店街の空き店舗の活用やコミュニティビジネスの先駆けということもあり、見学や取材を受けることも多いそうです。当日も、学生さんのグループが、リタイアされてから配食のボランティアを続けられている田中さんのお話を熱心に聞いていました。

レストランサラ、ひろばサラ、デイサービスサラについて、また、運営を担うNPO 法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会の詳細な情報は、同NPO 法人のホームページで紹介されています。

<http://members.jcom.home.ne.jp/npo-sarah/restaurant.html>

メールのあて先はこちらまで

[mukou3ken@gmail.com](mailto:mukou3ken@gmail.com)

活動情報はブログをご覧ください

<http://mukou3ken.seesaa.net/>